

平成29年度 第1回 蕨市地域包括支援センター運営協議会 会議概要

1. 日 時 平成29年5月31日(水) 午後1時30分～3時00分

2. 会 場 蕨市役所 4階 第1委員会室

3. 出席者 (敬称略)

委 員：飯野 朗子 羽根田 高洋 宮崎 紀 本吉 義博

鈴木 勇 生井 恵 岡本 和子 藤井 康榮

事務局：関 久徳(健康福祉部長) 岡田 陽一(介護保険室長)

津田 伸一(介護保険室長補佐) 野口 恵子(介護保険室係長)

檜山 裕太(介護保険室係長) 田澤 美佳(介護保険室技術主査)

井田 悠介(介護保険室主事)

蕨市第一地域包括支援センター：土肥 仁美(所長)・小山 睦美(社会福祉士)・  
寺内 幸恵(保健師)・隅木 淳子(主任ケア  
マネ)

蕨市第二地域包括支援センター：浅川 奈穂(センター長)・池田 美和(主  
任ケアマネ)・葉柳 幸代(看護師)

4. 内 容

【議 題】

- (1) 蕨市第一地域包括支援センター運営状況報告  
・平成28年度事業報告・自主点検報告・決算報告 など
- (2) 蕨市第二地域包括支援センター運営状況報告  
・平成28年度事業報告・自主点検報告・決算報告 など

【質 疑】

委 員：全体的に事業の参加人数や相談件数なども増えてきて、地域包括支援センターの役割や活用方法が市民に浸透してきたように感じている。今年度の重点的な取り組みはどのようになっていますか。

地域包括：昨年度はアウトリーチ（訪問支援）に力を入れて、地域に多く出向いた。

地域に出て市民の身近な所で活動する中で、地域課題を把握することがとても大切だと感じています。

出前講座を積極的に実施するなど活動を通して地域包括の意向や市の方針を伝えることもできました。同時に地域で抱えている課題の把握にも努めてきました。

今年度については、昨年同様、こちらから出向くアウトリーチに主眼を置き、何らかの理由により地域包括まで来ることができない人の相談に積極的に出向くことを考えています。

困った時の相談機関としての役割だけでなく、より元気になれるよう、その人らしく楽しく生きるための視点を取り入れた相談業務をしていくことを考えています。

委員：各地域でいきいき百歳体操が実施されていると思うが、同じ人が長く参加することが出来る良さもある反面、新しい人の参加も可能でしょうか。

事務局：各教室の定員は、実施する場所の広さで決まっていますが、空きがあれば途中からの参加も可能です。また、既存の場所に加えて新しい教室も徐々に増えているので参加人数も増えてきています。

委員：今後、高齢者の人数も増加してくるため地域包括支援センターの役割も大きくなってくると思いますが、現在の職員体制で不足はありませんか。

事務局：高齢者施策では、2025年問題を見据えて少しずつ地域包括ケアシステムの構築に取り組んでいます。更に他の福祉分野も含めて包括的な支援やサービスの仕組みづくりの必要性も言われてきています。

これらの状況を踏まえて国の方針、市の方針など全体的な視点で今後の職員体制なども考えていきたいと思っています。

委員：高齢者虐待の相談については、どこからの相談が多いか。

地域包括：ご本人から「家族に冷たくされて辛い」などのような相談が入る場合もあります。様々な関係機関からも相談がありますが、医療側の相談では、病院の相談員からの相談が多くなっています。